

JA大阪中河内 自己改革取組宣言

JA大阪中河内は、これからも総合事業を通じて組合員・地域の皆様に必要とされる組織を目指し、自己改革に取り組みます。

- 組合員・地域の皆様との対話を深め、協同の理念を共有した組織を目指します。
- JA活動の充実と一層の組合員参加を促進し、総合事業の強みを最大限に発揮します。
- それらをもとに、【持続可能な都市農業の展開】【組合員・地域との関係強化による組織基盤の確立】の諸施策によりJA自己改革を加速します。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業に従事する正組合員と、JAの事業利用を希望し加入頂いた農業者以外の地域住民である准組合員により組織され、組合員の皆様の営農と生活を守るために様々な事業を総合的に展開し、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

これらのことは、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能となるものであり、正組合員のみならず准組合員の事業利用が地域農業の振興には不可欠です。

これからも正・准組合員の皆様に対する総合事業の展開を通じて、地域農業の核を担うJA・より良い地域社会づくりの中心的役割を担うJAを目指してまいります。

本宣言では、JA自己改革（「農家所得の向上」「農業生産の拡大」「地域の活性化」）に向けた主な取り組みを以下の通りといたします。

1. 耕作放棄地の解消による「農家所得の向上」「農業生産の拡大」に向けた取り組みの強化

高齢、相続等で継承者が耕作困難となった組合員と、営農規模を拡大し農家所得の向上を考えている農業者とのマッチングにより、意欲ある農業者に農地の貸し借りを図ると共に、耕作放棄地解消に努め「農家所得の向上」「農業生産の拡大」に取り組みます。

2. 新たな担い手育成への支援

【研修会 11 回／実地講習会 14 回】

新規就農と栽培技術の向上を支援するため、定年帰農者、農産物直売所「畑のつづき」の出荷者を対象とした「農業塾」を開講します。生産者・営農指導員による実地栽培講習会を通じて、農業者の育成を図り、管内農地を守り農産物直売所の活性化に努めます。

3. 農産物直売所を通じた「農家所得の向上」への取り組み

【目標：直売所取扱高 350,000 千円】

農産物直売所の認知度向上による新規顧客の獲得や直売所間・JA間流通による品ぞろえの充実を図り、売上高アップに取り組みます。また、多様な販路の確保、ブランド化戦略等により付加価値の高い農産物の持続的・安定的な生産・供給に努めます。

なお、当JAの営農指導事業の主な取り組みは次の通りといたします。

- ①農家の労働力確保
- ②新規就農・定年帰農者等への支援（農業塾等の実施）
- ③積極的な農業融資による農業者の資金調達支援
- ④農地保全・耕作放棄地の未然防止